

中央区協働推進会議（第10回）議事要旨

1. 日時

平成21年5月14日（木）16:00～17:30

2. 場所

中央区役所別館8階第5会議室

3. 出席者

【委員】

瀧澤利行（会長）、山岸秀雄（副会長）、古澤悦子、安嶋潔、豊田正文、小泉典久、小池正男

【事務局】

地域振興課長、協働推進主査

（主な議題）

1. 協働のための人材育成方法について
 2. 中間報告（構成案）について
-

〔議事の経過〕

- 1 瀧澤会長より、協働推進の第4の柱である人材育成について、これまでの議論を踏まえて説明がなされ、その後、意見交換が行われた。委員からの主な意見等は、以下のとおりである。
 - 一般的に、講座を受けてもそのあとが続かないという課題がある。また、中央区の場合、昼間人口が圧倒的に多いため、企業の人たちにボランティアや地域活動に参加してもらうことが重要であるが、企業の人々の場合は転勤などがあり、継続が難しい。
 - 企業が社員にボランティアをすすめている例もあり、ルールづくりをするなど、整備していけばうまく継続できるのではないか。また、組織を相手にする場合には、NPO法人であれ、任意団体であれ、コーディネーターが必要であり、そういう人材を育てていくことが先決である。
 - 中央区では、町会がいろいろなことをやっている。まちづくり委員会の活動も活発である。
 - 中央区にはいろいろな資源があるが、それがまだ協働に結びついていない。
 - 従来の地域活動をもとにして、新しいNPOや市民活動の流れにつなげていけるような知恵があり、両者をつなぐコーディネート力を持った人が必要である。また、現在やっている活動をきちんと調べて、そのなかで今後展開できるのかどうかという点も視野に入れて議論できるような中間支援が大切である。

- 今までは役所がまとめてくれていたかもしれないが、そこから離れて中間支援の視点でやる必要がある。
- 2 中間報告の構成案について瀧澤会長より説明がなされ、次回、成文化されたものを検討することが了承された。
- 3 次回会議については、6月11日（木）16時から行われることとなった。